

被災市町村情報

福島県飯舘村

1 市町村の状況等

項目	内容
概要	飯舘村は、福島県の地域区分から「浜通り地域」に属し、県の東北部、阿武隈山系北部の丘陵地帯に広がる標高220～600mに生活基盤をもち、総面積230.13km ² の約75%を山林が占める農山村地帯であります。気候は比較的夏は涼しく、冬は降雪が少ないものの、寒さが厳しい地域であり、人口は約5,200人です。
復興状況	<ul style="list-style-type: none">◆東日本大震災に起因する原発事故の影響により全村避難となっていました。平成29年3月末に一部区域を残して避難解除となりました。役場機能も村内に戻り復興業務を行っています。◆村民が帰還できる環境を構築するため、復興拠点である道の駅までい館、交流センターふれあい館、認定こども園、義務教育学校、ふかや風の子広場など村づくりの中核となる施設が完成しています。◆基幹産業は農業であり、冷害に強い農業として、水稻・葉タバコ・畜産・花卉・野菜など複合経営を目指し、特に黒毛和牛の「飯舘牛」はブランド牛として高い評価を得ていました。現在は、事業継続、営農再開支援により水稻、花卉の作付面積が増加しており、村内での繁殖和牛、肥育牛も市場の高い評価を受けています。令和3年3月に「飯舘村ライスセンター」が完成したことから、村の水田農業の中核を担う施設として今後更なる振興が見込まれます。◆令和2年度に第6次総合振興計画を策定し、空き家バンクや農地中間管理事業による村内資源の活用促進、関係人口の拡大、村独自の移住・定住対策など「ふるさとの担い手」を主役とする施策を展開中です。
ホームページアドレス	http://www.vill.iitate.fukushima.jp/
交通	東北新幹線福島駅より「飯舘村役場」まで <ul style="list-style-type: none">◆JR線福島駅東口から、車で約60分◆東北自動車道福島西ICから、車で約60分
放射線情報	◆村内の数箇所に設置してある可搬型モニタリングポストの測定値 2021年5月20日現在 0.087～1.173 $\mu\text{Sv/h}$

2 勤務条件等

項目	内容
勤務時間	8:30から17:15 (休憩時間:12:00～13:00)
休日	土曜日、日曜日、国民の祝日、12月29日～1月3日

時間外勤務	通常はありませんが、無理のない範囲でお願いする場合があります。	
年次有給休暇	暦年に20日付与し、繰越20日限度となりますが、年の途中で派遣された場合は、村の「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」に基づいた日数となる予定です。	
その他の休暇	夏季休暇5日、病気休暇、特別休暇、介護休暇等があり、飯舘村の「職員の勤務時間、休暇等に関する条例」に定めるものとします。	
宿 舎	飯舘村で準備いたします。入居料・家賃については無償予定ですが、光熱費等は、個人負担となります。	
	備 品	備え付けの備品は基本的に飯舘村で手配いたします。
	駐 車 場	飯舘村で手配いたします。
	通勤手段	車での通勤となりますので、自家用車が必要となります。
	通勤時間	勤務場所によりますが、村内住宅であれば概ね車で15分程度です。
	立地条件	通勤時間等を配慮した場所を想定しています。

3 インフラ等

項 目	内 容
商 業 施 設	村内に道の駅、コンビニがあります。 車で30分圏内にスーパー、ホームセンターがあります。
医 療 機 関	いいたてクリニック（診療日：毎週火・木の午前中）
子育てに係る施設	認定こども園、義務教育学校、ふかや風の子広場（子どもの遊び場）
水・電気・ガス	上下水道、電気、ガスともに復旧しています。

4 その他（コメント等）

飯舘村は、帰りたい人・帰りたくても帰れない人など、村民一人ひとりに寄り添った復興を目指しております。

平成29年3月をもって一部区域を残して避難指示解除となりました。正職員だけでさまざまな復興事業に対応することは困難な状況にありますので、ぜひ飯舘村の復興に手を貸していただきませうお願いいたします。

5 担当者連絡先

所 属 部 課 名	総務課
電 話 番 号	0244-42-1611
F A X 番 号	0244-42-1601
メ ー ル ア ド レ ス	soumu@vill.iitate.fukushima.jp